

住まいのかわら版

Vol.03
2022年10月号

OGIKEN

<発行>

株式会社 荻野建築企画

戸田市上戸田1-1-17

TEL.048-445-5277

上手にガスを節約しましょう

注目されている「節ガス」。ガスを節約すれば、省エネやCO2削減にもつながります。



みなさまに暮らしと住まいを快適にするためのちよつと役立つ情報をお届けいたします。今回のテーマは「節ガス」です。

節電はよく呼びかけられましたが、昨今の世界情勢からガスの供給が不安定なこともあり、ここところ、「節ガス」つまりガスの節約のすすめをテレビなどで見聞きしますね。ふだんからガスの節約を心がければ、省エネやCO2削減にもつながります。そこで、ガスの節約の工夫を紹介します。

ガスの火力や給湯温度の見直しをしましょう

●キッチンでガスを使うとき
鍋やかんを使うとき、火力が底面からはみ出さないようにしましょう。底面より火がはみ出しても鍋やかんには伝わらないので、ムダになります。

料理のときに、煮込み料理は長時間火にかけなければいけません。短時間で仕上がる圧力鍋や、保温性が高い鍋を使うことも手です。保温性が



お湯を沸かすときはフタをすることで、熱が逃げるのを防ぎ、早く沸くので省エネにつながります。

高い鍋なら、余熱を利用することができるので、ガスの節約になり、つきつきりにならなくても済みます。

中華鍋でつくるチャーハンなど、強い火力でサツとつくるのも良いですが、フッ素樹脂加工のフライパンは強火より中火での使用が向いています。調理器具を適切に使うことも、ガスの節約につながるの、ぜひお持ちのフライパンを確認してみてください。

お部屋やお風呂でもガスの節約を

●ガスを使った暖房器具を使うとき
普段使いの給湯のいちばん低い設定温度は35〜37度が多いですが、お皿を洗う際や、冬場に手を洗うときに最低温度にすることで、省エネになります。

●ガスを使った暖房器具を使うとき
ガスの床暖房は、スイッチを切った後も、しばらくは暖かさが残るので、寝る前やお出かけ前は少し早めに切るとガスの節約になります。

ガスファンヒーターは、フィルターを掃除することで、運転効率の低下を防ぎ、ガスの節約になります。

暖房器具の設定温度を低くし、厚手のカーテンや着るものに工夫すれば節約になりますね。

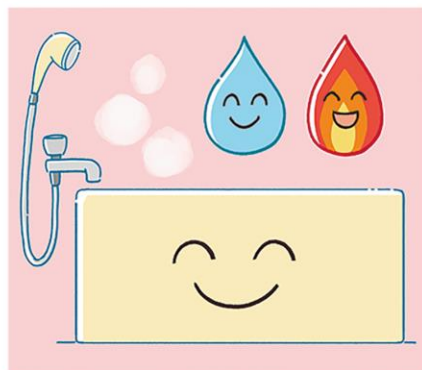


暖房器具は、暖めすぎを防ぐエコ運転などを利用するのも良いですね!

●お風呂を使うとき

お湯の量を見直し、減らすことで、ガスの節約につながります。お湯を沸かすときは、フタをすることで熱が逃げにくいので、早く沸き、保温にも役立ちます。

家族で入浴する場合、時間を空けずに入ること、追い炊きやお湯を足す手間が減り、ガスの節約になります。シャワーはできるだけ出しっぱなしにせず、使うときだけにすると、ガスだけでなく水道の節約にもなります。また、浴槽のお湯を利用することで、シャワーを使う時間が短くなるだけでなく、水の節約にもなります。節水タイプのシャワーヘッドなら、水圧を変えることなくお湯の使用量を減らせるだけでなく、細かい水流で効果的に洗い流すことができるので、ガスや水の節約につながります。



お風呂の使い方を工夫すれば、ガスだけでなく、水の節約にもつながるので一石二鳥ですね!

頭の体操

間違いさがしゲーム

上下のイラストで違うところが5箇所あります。さあ!チャレンジしてみてくださいね!



答えは裏面をみてね!